| 執筆者(カナ) | 執筆者 | タイトル | 掲載誌 | 発行所 | 掲載年月 |
|---|---|---|---|---|---|
| あかさきまなぶ | 赤崎　学 | 啄木短歌と賢治短歌・ある視点 | 国際啄木学科盛岡支部会報25 | 国際啄木学会盛岡支部 | Oct-16 |
| あきえだみほ | 秋枝　美保・鄭 | 宮沢賢治「西域」作品と島地大等の印度仏跡探検　作品「マグノリアの木」を視座に | 福山大学人間文化学部紀要16 | 福山大学人間文化学部 | Mar-16 |
| あきえだみほ | 秋枝　美保 | 宮沢賢治誕生以前　祖父の死の意味するもの　短歌「祖父の死」・「復活の前」を中心に | 中四国宮沢賢治研究会14 | 中四国宮沢賢治研究会 | Mar-16 |
| あさぬまけいじ | 浅沼　圭司 | 『宮沢賢治の「序」を読む』 | 『宮沢賢治の「序」を読む』 | 水声社 | Sep-16 |
| あんどうきょうこ | 安藤　恭子 | 妖怪としての＜宮沢賢治＞ | 文学17-1 | 岩波書店 | Jan-16 |
| いがらしひでと | 五十嵐　英人 | 銀河鉄道の正体を探る…　岩手軽便鉄道か？それとも東北本線か？ | 旅と鉄道6-8 | 朝日新聞出版 | Nov-16 |
| いけざわなつき | 池澤　夏樹 | 解説 | 『日本文学全集16　宮沢賢治　中島敦』 | 河出書房新社 | Apr-16 |
| いけざわなつき | 池澤　夏樹 | 付録1「言葉の流星群」 | 『日本文学全集16　宮沢賢治　中島敦』 | 河出書房新社 | Apr-16 |
| いけざわなつき | 池澤　夏樹 | 付録2「ポラーノの広場に集う者」 | 『日本文学全集16　宮沢賢治　中島敦』 | 河出書房新社 | Apr-16 |
| いけざわなつき | 池澤　夏樹 | 宮沢賢治と縄文の記憶 | 『宮沢賢治～科学と祈りのこころ』 | 北海道立文学館 | Sep-16 |
| いしいきみなり | 石井　公成 | 「ビヂテリアン大祭」の菜食主義　宮沢賢治と章太炎の対比を手がかりとして | 文学17-1 | 岩波書店 | Jan-16 |
| いしいたけお | 石井　竹夫 | 宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』に登場するアスパラガスとジョバンニの家（前編） | 人間・植物関係学会雑誌15-2 | 人間・植物関係学会 | Mar-16 |
| いしいたけお | 石井　竹夫 | 宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』に登場するアスパラガスとジョバンニの家（後編） | 人間・植物関係学会雑誌15-2 | 人間・植物関係学会 | Mar-16 |
| いしいたけお | 石井　竹夫 | 宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』に登場する列車の中のリンゴと乳幼児期の記憶 | 人間・植物関係学会雑誌15-2 | 人間・植物関係学会 | Mar-16 |
| いしいたけお | 石井　竹夫 | 宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』に登場するリンゴと十字架（前編） | 人間・植物関係学会雑誌16-1 | 人間・植物関係学会 | Oct-16 |
| いしいたけお | 石井　竹夫 | 宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』に登場するリンゴと十字架（後編） | 人間・植物関係学会雑誌16-1 | 人間・植物関係学会 | Oct-16 |
| いしいたけお | 石井　竹夫 | 宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』に登場する綿で包んだリンゴ | 人間・植物関係学会雑誌16-1 | 人間・植物関係学会 | Oct-16 |
| いずみさわよし | 泉沢　善雄 | 賢治エピソード落穂拾い　第21話　賢治と写真館 | ワルトラワラ40 | ワルトラワラの会 | Jun-16 |
| いなおおずひこ | 稲尾　一彦 | 「なめとこ山の熊」論　忘れられたもう一つの集大成 | 国語と教育41 | 長崎大学国語国文学会 | Nov-16 |
| いわのたくじ | 岩野　卓司 | 石原莞爾から宮沢賢治へ　古層をめぐって | 『日本人の魂の古層』 | 明治大学出版会 | Mar-16 |
| うちだりゅうぞう | 内田　隆三 | 宮沢賢治のりんご　三田宗介の試みを受けて | 現代思想43-19 | 青土社 | Jan-16 |
| うめだえりか | 梅田　えりか | 『春と修羅』第二集「〔南のはてが〕」考（第一部） | 賢治研究128 | 宮沢賢治研究会 | Mar-16 |
| うめだえりか | 梅田　えりか | 『春と修羅』第二集「〔南のはてが〕」考（第二部） | 賢治研究129 | 宮沢賢治研究会 | Jul-16 |
| えんどうもえこ | 遠藤　萌子 | 郷土を抱く　宮沢賢治「鹿踊りのはじまり」 | 大正文学論叢2 | 明治大学大学院宮越ゼミ | Feb-16 |
| おおいかずお | 大伊　和雄 | 宮沢賢治の伊勢湾・三河湾周航 | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| おおうちひでき | 大内　秀明 | 《資料》『宮沢賢治の「羅須地人協会」』（仙台・羅須地人協会） | 変革のアソシエ26 | 変革のアソシエ | Oct-16 |
| おおくぼたつま | 大久保　辰眞 | 佐藤竣介（松本竣介）と同郷会的なものの諸相　宮沢賢治「農民芸術概論綱要」とのかかわりへの展開 | 近代画説25 | 明治美術学会 | Dec-16 |
| おおくぼひとし | 大久保　等 | 宮沢賢治詩の現代語解釈　その二　情報系～研究者の考察 | 八戸学院短期大学研究紀要42 | 八戸学院短期大学 | Mar-16 |
| おおさわまさよし | 大沢　正善 | 宮沢賢治とアレニウスの宇宙観 | 岐阜聖徳学園大学国語国文35 | 岐阜聖徳学園大学国語国文学会 | Mar-16 |
| おおしまたけし | 大島　丈志 | 〔税務署長の冒険〕論「探偵」と「税務署長」をめぐる同時代　言説からの考察 | 文学17-1 | 岩波書店 | Jan-16 |
| おおしまたけし | 大島　丈志 | 「ものがたり」から生まれる絵本　宮沢賢治「なめとこ山の熊」を軸として | 『絵本ものがたりFIND　見つける・つむぐ・変化させる』 | 朝倉書店 | May-16 |
| おおしまたけし | 大島　丈志 | 宮沢賢治作品と農村、その継承、詩「住居」・真壁仁の受容から | 東北学3-8 | 東北芸術工科大学東北文化研究センター | Aug-16 |
| おおしまたけし | 大島　丈志 | アニメ化される「風の又三郎」 | 日本児童文学62-5 | 日本児童文学会 | Oct-16 |
| おおたにえいい | 大谷　栄一・吉 | 『近代仏教スタディーズ　仏教からみたもうひとつの近代』 | 『近代仏教スタディーズ　仏教からみたもうひとつの近代』 | 法藏館 | Apr-16 |
| おかざわとしお | 岡澤　敏男 | 「作品現場からの検証　「狼森と笊森、盗森」の異聞（下） | ワルトラワラ40 | ワルトラワラの会 | Jun-16 |
| おかだひろし | 岡田　弘 | 宮沢賢治はブドリに何を託したのか　火山災害の研究現場から振り返る | 『宮沢賢治～科学と祈りのこころ』 | 北海道立文学館 | Sep-16 |
| おかむらたみお | 岡村　民夫 | 「風の又三郎」論　心象を問う少年小説 | 文学17-2 | 岩波書店 | Mar-16 |
| おかむらたみお | 岡村　民夫 | 宮沢賢治の＜郊外の夢＞　地図の彼方へ | 月刊地図中心527 | 日本地図センター | Aug-16 |
| おかむらたみお | 岡村　民夫 | 盛岡の立原道造 | 感泣亭秋報11 | 感泣亭アーカイヴズ | Nov-16 |
| おぜきとしひろ | 尾関　俊浩 | 「宮沢賢治」にみる雪や氷の現象 | 『宮沢賢治～科学と祈りのこころ』 | 北海道立文学館 | Sep-16 |
| かくらいあつお | 加倉井　厚夫 | あかるくそそぐ陽のビール　詩「馬」における作品創作の状況を探る | 文学17-1 | 岩波書店 | Jan-16 |
| かくらいあつお | 加倉井　厚夫 | 宮沢賢治のプラネタリウム(23)　天文少年宮沢賢治(5) | ワルトラワラ40 | ワルトラワラの会 | Jun-16 |
| かとうひろかず | 加藤　碩一 | 『春と修羅』の地的断章評 | 文学17-1 | 岩波書店 | Jan-16 |
| かとうひろかず | 加藤　碩一 | イーハトーブの地脈(北上山地・早池峰(峯)山)における飛躍連想 | 宮沢賢治研究Annual26 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Mar-16 |
| かとうひろかず | 加藤　碩一 | 『宮澤賢治イーハトーヴ学事典』私の補遺 | 賢治研究129 | 宮沢賢治研究会 | Jul-16 |
| かとうひろかず | 加藤　碩一 | 『宮澤賢治イーハトーヴ学事典』私の補遺 | 賢治研究130 | 宮沢賢治研究会 | Nov-16 |
| かにざわさとし | 蟹沢　聰史 | 宮沢賢治のイーハトーブ作品と最近の北上山地に関する地質情報　賢治にささげる新しい地球像 | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| かまえだいき | 構　大樹 | 「宮沢賢治」の受容②　変容するブドリの「伝記」 | 賢治研究128 | 宮沢賢治研究会 | Mar-16 |
| かわばたやすお | 川端　康雄 | 宮澤賢治と羅須地人協会 | 『ウィリアム・モリスの遺したもの』 | 岩波書店 | Dec-16 |
| きむらなおひろ | 木村　直弘 | イーハトーブの音は越境できるか　宮澤賢治《セロ弾きのゴーシュ》におけるオノマトペの中国語訳をめぐって | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| きむらなおひろ | 木村　直弘 | 海外における賢治文学受容の現状と今後 | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| きょくよう | 曲　楊 | 宮沢賢治「風の又三郎」論　風野又三郎と高田三郎、二人の三郎の物語 | 緑丘詩林40 | 青山学院大学日文院生部会 | Mar-16 |
| きよせさくろう | 清瀬　六朗 | 『土地の魔法』 | 『土地の魔法』 | アトリエそねっと | Sep-16 |
| きるぱとりっくへ | キルパトリック | オーストラリアにおける賢治文学の役割と今後の展望について | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| くりはらあつし | 栗原　敦 | 資料と研究ところどころ20「労農党」のこと | 賢治研究128 | 宮沢賢治研究会 | Mar-16 |
| くりはらあつし | 栗原　敦 | 資料と研究ところどころ21「労農党」のこと、など | 賢治研究129 | 宮沢賢治研究会 | Jul-16 |
| くりはらあつし | 栗原　敦 | 宮沢賢治のフィロソフィー | 『宮沢賢治～化学と祈りのこころ』 | 北海道文学館 | Sep-16 |
| くりはらあつし | 栗原　敦 | 資料と研究ところどころ22『時期推定書簡存疑』(『新校本宮澤賢治全集』書簡集作業)のうち | 賢治研究130 | 宮沢賢治研究会 | Nov-16 |
| くりはらあつし | 栗原　敦 | 現在（いま）に生きる願い　宮沢賢治の絵画表現 | 日本藝術の創跡21 | ルネサンス・日本 | Nov-16 |
| こうらとしお | 古浦　敏生 | 日本語・イタリア語対照研究　宮沢賢治の3作品に現れる反復表現 | 『言語学論文集　古浦敏生喜寿記念』 | 文流 | Mar-16 |
| こせきかずひろ | 小関　和弘 | 火の詩人　宮沢賢治　幻想の「火」と現実の「火」 | 文学17-1 | 岩波書店 | Jan-16 |
| こんどうけんじ | 近藤　健史 | 宮澤賢治の南洋諸島ポナペ島への手紙　成瀬金太郎に贈った「竜のはなし」 | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| こんどうしゅんた | 近藤　俊太郎・ | 『近代仏教スタディーズ　仏教からみたもうひとつの近代』 | 『近代仏教スタディーズ　仏教からみたもうひとつの近代』 | 法藏館 | Apr-16 |
| さかきまさこ | 榊　昌子 | 宮沢賢治に聞きたいこと | 賢治研究128 | 宮沢賢治研究会 | Mar-16 |
| さかもとまさひろ | 坂本　正博 | 『村上昭夫の詩　受苦の呻き　よみがえる自画像』 | 『村上昭夫の詩　受苦の呻き　よみがえる自画像』 | 国文社 | May-16 |
| さとうかみのり | 佐藤　守徳 | 『宮沢賢治サラリーマンの歌』 | 『宮沢賢治サラリーマンの歌』 | 私家版 | 2016- |
| さとうけいこ | 佐藤　桂子 | かま猫の苦悶　差別と苛めの構造についての一考察 | サムライ・平和7 | 山波言太郎総合文化財団 | Jan-16 |
| さとうけいこ | 佐藤　桂子 | 宮沢賢治の劇を読む　『飢餓陣営』考 | サムライ・平和8 | 山波言太郎総合文化財団 | Jul-16 |
| さとうひとし | 佐藤　成 | 続、我がつれ・づれ考（私論・賢治）「宮沢賢治」彼は生涯農業教師であった | サムライ・平和7 | 山波言太郎総合文化財団 | Jan-16 |
| さとうりゅういち | 佐藤　竜一 | 『宮沢賢治の詩友・黄瀛の生涯　日本と中国　二つの祖国を生きて』 | 『宮沢賢治の詩友・黄瀛の生涯　日本と中国　二つの祖国を生きて』 | コールサック社 | May-16 |
| さとうりゅういち | 佐藤　竜一 | 宮沢賢治の夢をはぐくんだエスペラントと「雨ニモマケズ」 | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| しばむらのりよ | 柴村　紀代 | 映像時代の「グスコーブドリの伝記」について | 『宮沢賢治～科学と祈りのこころ』 | 北海道立文学館 | Sep-16 |
| しまだたかすけ | 島田　隆輔 | 「病中幻想」文語詩稿の生成とその訳注と | 論攷宮沢賢治14 | 中四国宮沢賢治研究会 | Mar-16 |
| しまだたかすけ | 島田　隆輔 | 青柳亮「メドレー先生を偲ぶ(補遺) | 宮沢賢治研究Annnual26 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Mar-16 |
| じょーじぶらっと | ジョージ(ブラッ | インドにおける賢治文学の受容と今後の可能性について | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| しろもりひろし | 城守　寛 | 宮沢賢治と植物 | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| すがいちさと | 須貝　千里 | 「すきとほつたほんたうのたべもの」は「幸福」の「種」「注文の多い料理店」（宮澤賢治）における「国語」の軋み、「 | 山梨大学国語・国文と国語教育21 | 山梨大学国語国文学会 | Mar-16 |
| すがわらときや | 菅原　興也 | 虚実謂源(289)宮沢賢治と俳句⑤ | 滝289 | 滝発行所 | Jan-16 |
| すぎうらしずか | 杉浦　静 | 宮沢賢治とダリケ　散文「ダルゲ」からロ語詩「ダルゲ」へ | 文学17-1 | 岩波書店 | Jan-16 |
| すぎうらしずか | 杉浦　静 | 宮沢賢治資料(54)「三三〇（うとうとするとひやりくる）」本文訂正 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報52・雪のカラス | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Mar-16 |
| すぎうらしずか | 杉浦　静 | 宮沢賢治資料(55)『春と修羅』紹介記事（東京朝日新聞大正13年11月30日付朝刊7面） | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報53・鷲 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Sep-16 |
| たかはたいさお | 高畑　勲 | 宮沢賢治の擬人表現について | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報52・雪のカラス | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Mar-16 |
| たくぼくけんじけ | 啄木・賢治研究 | 宮沢賢治『氷河鼠の毛皮』論　完了した入植 | 日本文学会学生紀要24 | 盛岡大学日本文学会 | Mar-16 |
| たけうちせいいち | 竹内　整一 | かんがえださなければならないことはどうしてもかんがえださなければならない | 『日本思想の言葉　神、人、命、魂』 | KADOKAWA | Aug-16 |
| たじまあやか | 田嶋　彩香 | 宮沢賢治「氷と後光（習作）」考　子どものいる家族の視点から | 賢治研究130 | 宮沢賢治研究会 | Nov-16 |
| たまいあきふみ | 玉井　晶章 | 宮澤賢治「蜻虫舞手」とくずチラナトランの意味　『春と修羅』刊行初期の生前批評に触れつつ | 京都語文23 | 佛教大学国語国文学会 | Nov-16 |
| ちばかずみき | 千葉　一幹 | 賢治と東北 | 日本文学風土学会紀要40 | 日本文学風土学会 | Mar-16 |
| ちばみつで | 千葉　貢 | 第三章　宮澤賢治童話の“生死”考『三宝絵』の「鹿王」と重ねながら | 『相遷の人と文学　長塚節・宮澤賢治・白鳥省吾・淺野晃・佐藤正子』 | コールサック社 | Mar-16 |
| ちょうえいきょう | 張　永嬌 | 宮澤賢治作品と戦争をめぐって「鳥の北斗七星」を中心に | 語文論叢31 | 千葉大学文学部日本文化学会 | Jul-16 |
| ちょんあなん | 鄭　亜楠・秋枝 | 宮沢賢治「西域」作品と島地大等の印度仏跡探検　作品「マグノリアの木」を視座に | 福山大学人間文化学部紀要16 | 福山大学人間文化学部 | Mar-16 |
| なかいたかあき | 中井　孝章 | 『賢治の読者は山猫を見たか「解離コード」で読み解くもうひとつの世界』 | 『賢治の読者は山猫を見たか「解離コード」で読み解くもうひとつの世界』 | 日本教育研究センター | Apr-16 |
| なかたにとしお | 中谷　俊雄 | 大菩薩峠の歌 | 賢治研究130 | 宮沢賢治研究会 | Nov-16 |
| なかちあや | 中地　文 | 『賢治童話ビジュアル事典』 | 『賢治童話ビジュアル事典』 | 岩崎書店 | Sep-16 |
| ながぬましろう | 長沼　士郎 | 『宮沢賢治「宇宙意志」を見据えて』 | 『宮沢賢治「宇宙意志」を見据えて』 | コールサック社 | Mar-16 |
| なかのたかゆき | 中野　隆之 | 『宮沢賢治童話論集』 | 『宮沢賢治童話論集』 | のぶ工房 | Jul-16 |
| なかのゆき | 中野　由貴 | イーハトーブ＜食事＞学　賢治の隠し味 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報53・鷲 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Sep-16 |
| なかむらかずき | 中村　一基 | 賢治童話絵本化の試み | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| にいづまあきこ | 新妻　明子 | 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』におけるオノマトペ　日英比較対照と解釈のプロセス | 常葉大学短期大学部紀要47 | 常葉大学短期大学部 | 2016- |
| にしかわかずふ | 西川　万文 | 社会教育指導者としての宮沢賢治の軌跡　社会教育指導者論再考 | コミュニティ振興研究　常磐大学コミュニティ振興学部紀要22 | 常磐大学コミュニティ振興学部 | Mar-16 |
| ねもとけいこ | 根本　敬子 | 『『銀河鉄道の夜』と北海道　探索記　王子製紙の軽便鉄道が「銀河鉄道」の地上モデルである可能性について』 | 『『銀河鉄道の夜』と北海道　探索記　王子製紙の軽便鉄道が「銀河鉄道」の地上 | 私家版 | 2016- |
| のぶとまてつろう | 信時　哲郎 | 宮沢賢治「文語詩稿　一百篇」評釈七 | 甲南女子大学研究紀要52 | 甲南女子大学 | Mar-16 |
| のぶとまてつろう | 信時　哲郎 | 宮沢賢治「文語詩稿　一百篇」評釈八 | 甲南国文63 | 甲南女子大学国文学会 | Mar-16 |
| のぶとまてつろう | 信時　哲郎 | 「宮沢賢治」の受容③文語詩はどう読まれたか／読まれなかったか | 賢治研究130 | 宮沢賢治研究会 | Nov-16 |
| はぎわらたかお | 萩原　孝雄 | 米国での賢治文学受容の現状と今後の可能性 | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| ぱくじょんじん | 朴　鍾振 | 韓国における宮沢賢治作品の受容 | 賢治学3 | 東海大学出版部 | Jun-16 |
| はたのかずひろ | 秦野　一宏 | 笑う賢治　『北守将軍と三人の医者』をめぐって | 論攷宮沢賢治14 | 中四国宮沢賢治研究会 | Mar-16 |
| はたのかずひろ | 秦野　一宏 | 宮沢賢治と＜先生＞ | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報52・雪のカラス | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Mar-16 |
| はっとりゆうこ | 服部　裕子 | 宮沢賢治「セロ弾きのゴーシュ」の受容　児童劇の脚本の検討 | 愛知教育大学大学院国語研究24 | 愛知教育大学大学院国語教育専攻 | Mar-16 |
| はまがきせいじ | 浜垣　誠司 | 宮沢賢治のグリーフ・ワーク　トシの死と心の遍歴 | 宮沢賢治研究Annual26 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Mar-16 |
| はまだえいさく | 濱田　英作 | 宮沢賢治と三人の天童子　西域モチーフがいかに重要であったかに関する一考察・「宮沢賢治の観じた西域」補遺 | 21世紀アジア学研究14 | 国士舘大学21世紀アジア学会 | Mar-16 |
| はらさわしんいち | 平澤　信一 | 物故同人・宮澤賢治の生前評価　「歴程」創刊まで | 歴程600 | 歴程社 | Nov-16 |
| はらよしえ | 原　良枝 | 祈りの文学　宮澤賢治の童話と音声表現 | 『祈りと再生のコスモロジー　比較基層文化論叢説』 | 成文社 | Oct-16 |
| びなーどあーさ・ | ビナード(アー | 扉の向こうに「今」が見える　賢治先生の先見性 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報53・鷲 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Sep-16 |
| ひらさわしんいち | 平澤　信一 | 生誕120年の宮沢賢治 | 日本近代文学95 | 日本近代文学会 | Nov-16 |
| ひらたおさむ | 平田　オリザ | 賢治の祈り | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報53・鷲 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Sep-16 |
| ひろせまさあき | 廣瀬　正明 | 銀河の鉄道がなぜコロラド高原を走るのか | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター会報53・鷲 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Sep-16 |
| ふじいよしひろ | 藤井　義博 | 宮澤賢治の“注文の多い料理店”と“山男の四月”の相補性　栄養療法の地的枠組についての研究13 | 藤女子大学人間生活学部紀要53 | 藤女子大学 | Mar-16 |
| ふじたなおこ | 藤田　なお子 | 同人誌『アザリア』の研究　宮沢賢治をとりまく人々 | 梅花児童文学24 | 梅花女子大学大学院児童文学会 | Mar-16 |
| ますもとなつ | 牧　千夏 | 山男の近代　宮沢賢治「紫紺染について」論 | 賢治研究129 | 宮沢賢治研究会 | Jul-16 |
| まきのしずか | 牧野　静 | 宮沢賢治における他社受容の志向　『銀河鉄道の夜』を手がかりに | 哲学・思想論叢34 | 筑波大学哲学・思想学会 | Jan-16 |
| まつだしろう | 松田　司郎 | 賢治とゴッホ／二つの魂のめざしたもの　銀河と糸杉と　第四章　なぜ描くか　＜風＞と＜列車＞ | ワルトラワラ40 | ワルトラワラの会 | Jun-16 |
| まつゆきあきこ | 松行　彬子 | 宮沢賢治『マグノリアの木』における全体包括的な生命プロセスの認識と相補性原理 | 賢治研究128 | 宮沢賢治研究会 | Mar-16 |
| みかみみつる | 三上　満 | 『賢治　詩の世界へ』 | 『賢治　詩の世界へ』 | 新日本出版社 | Aug-16 |
| みやざわてつお | 宮澤　哲夫 | 『宮澤賢治　童話と＜挽歌＞＜疾中＞詩群への旅』 | 『宮澤賢治　童話と＜挽歌＞＜疾中＞詩群への旅』 | 蒼丘書林 | Sep-16 |
| もりそういち | 森　荘已池 | 『森荘已池ノート　新装再刊ふれあいの人々宮沢賢治』 | 『森荘已池ノート　新装再刊ふれあいの人々宮沢賢治』 | 盛岡出版コミュニティー | Aug-16 |
| もりよしまさ | 森　義真 | 賢治の啄木意識 | 賢治研究130 | 宮沢賢治研究会 | Nov-16 |
| もんぜんあやき | 門前　斐紀 | 「セロ弾きのゴーシュ」の一考察　「宇宙感情」の「表現」のかたち | 宮沢賢治研究Annual26 | 宮沢賢治学会イーハトーブセンター | Mar-16 |
| やすたかせいご | 安高　誠吾 | 「グスコーブドリの伝記」について | 『宮沢賢治～科学と祈りのこころ』 | 北海道立文学館 | Sep-16 |
| やたによしくに | 矢谷　慈國 | 宮沢賢治「農民芸術」と小谷純一「愛農運動」　ユニバーサル・プロジェクション（U・P）の視点から | 追手門学院大学社会学部紀要10 | 追手門学院大学 | Mar-16 |
| やばなまりこ | 矢花　真理子 | 宮沢賢治「貝の火」論　権力と無縁のまなざしを取り戻すことは出来るか | 言語・文学研究論集16 | 白百合女子大学・言語・文学研究センター | Mar-16 |
| やまもたきよみ | 山下　聖美 | 『文学の世界　大人のための宮沢賢治再入門　ほんとうの幸を探して』 | 『文学の世界　大人のための宮沢賢治再入門　ほんとうの幸を探して』 | NHK出版 | Jan-16 |
| やまもたきよみ | 山下　聖美 | 日本文学における共感覚　宮沢賢治と尾崎翠 | 『共感覚から見えるもの　アートと科学を彩る五感の世界』 | 勉誠出版 | Mar-16 |
| やまねともこ | 山根　知子 | 宮澤賢治に影響を与えた妹トシの信仰　「絶対者」を求めて | ノートルダム清心女子大学紀要40-1 | ノートルダム清心女子大学 | Mar-16 |
| やまねともこ | 山根　知子 | 宮沢賢治の文学と浄土真宗信仰　信仰の重層性の基層から | 白山ふるさと文学賞第22回暁烏敏賞入選論文 | 白山市 | Nov-16 |
| やまもとしょうへ | 山本　昌平 | 宮沢賢治はどのように語るのか　現象を語る賢治の言葉 | 統合人間学研究1 | 統合人間学会 | Mar-16 |
| よこたしょういち | 横田　庄一郎 | 『チェロと宮沢賢治　ゴーシュ余聞』 | 『チェロと宮沢賢治　ゴーシュ余聞』 | 岩波現代文庫 | Mar-16 |
| よしながしんいち | 吉永　進一・近 | 『近代仏教スタディーズ　仏教からみたもうひとつの近代』 | 『近代仏教スタディーズ　仏教からみたもうひとつの近代』 | 法藏館 | Apr-16 |
| よしもとたかあき | 吉本　隆明 | 『吉本隆明全集1　1941-1948』 | 『吉本隆明全集1　1941-1949』 | 晶文社 | Jun-16 |
| よねちふみお | 米地　文夫 | 宮沢賢治「シグナルとシグナレス」の三重の寓意　岩手軽便鉄道国有化問題と有島武郎の恋と天球の音楽と | 総合政策17-2 | 岩手県立大学総合政策学会 | Mar-16 |
| よねちふみお | 米地　文夫 | カニはどこにいるか　啄木と賢治の描いた時空を較べる | 国際啄木学会盛岡支部会報25 | 国際啄木学会盛岡支部 | Oct-16 |
| わたなべかずま | 渡辺　一匡 | 宮沢賢治『双子の星』について「役目」と「天職」 | 大正文学論叢2 | 明治大学大学院宮越ゼミ | Feb-16 |
| わたなべほうよ | 渡邊　宝陽 | 『宮澤賢治と法華経宇宙』 | 『宮澤賢治と法華経宇宙』 | 大法輪閣 | Sep-16 |
| わたなべよしお | 渡辺　善雄 | 小十郎と金天狗　宮沢賢治「なめとこ山の熊」の時代 | 宮城教育大学紀要51 | 宮城教育大学 | Jan-16 |